



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福永 法弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)西川 治彦 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	5,264	1.8	350	112.7	178	—	86	51.7
27年12月期第2四半期	5,173	1.6	164	—	△2	—	57	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	7.87	—
27年12月期第2四半期	5.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	18,805	1,866	9.9
27年12月期	18,845	1,813	9.6

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,866百万円 27年12月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	3.00	3.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,450	△2.9	440	△21.7	150	△11.0	160	—	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期 2 Q	11,091,400株	27年12月期	11,091,400株
② 期末自己株式数	28年12月期 2 Q	61,394株	27年12月期	61,390株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期 2 Q	11,030,009株	27年12月期 2 Q	10,327,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益と雇用情勢の改善等、緩やかな景気回復基調となったものの、世界経済の減速懸念等により、株価や為替が不安定になるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましては、個人旅行客が堅調であったほか、訪日外国人数が依然高水準を維持する等、宿泊需要は堅調に推移しました。また宴会部門につきましても件数、人数が前年を上回りました。

このような環境下、当社におきましても、客室を中心に改装等設備投資を進めました。京都ホテルオークラでは、客室テレビシステムを更新いたしました。また、からすま京都ホテルでは10階から12階の75室をリニューアルいたしました。これら売上増強策の効果もあり、宿泊部門は好調を維持いたしました。また、宴会部門におきましても婚礼宴会が堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,264百万円（前年同期比90百万円増）となりました。一方、収益面におきましては、引き続き原価管理、経費削減に努めました。また、不採算部門の営業形態見直しや閉鎖により収益性が改善したことに加え、増収効果もあいまって、営業利益は350百万円（前年同期比185百万円増）、経常利益は178百万円（前年同期は経常損失2百万円）となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊売上高は、北米を中心とした外国人客（団体・個人）に加え、国内エージェン特経由の個人旅行客が顕著に推移し、売上高は前年同期比83百万円増となりました。

からすま京都ホテルにおきましては、国内旅行会社経由の個人、外国人旅行客が好調に推移し、また1月～3月に実施いたしました改装による客室単価の上昇もあいまって、売上高は前年同期比42百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は1,720百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

(宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、件数、人数共に前年を大きく上回りました。また、一般宴会においては人数の減少はありましたが、件数と単価が伸びたことにより、合計の売上高は前年同期比108百万円増となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会の件数、人数が前年を上回り、売上高は前年同期比23百万円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は1,720百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、鉄板焼「ときわ」と中国料理「桃李」が順調に推移しましたが、京料理「入舟」、テラスレストラン「ベルカント」で客数が減少し、また、惣菜販売を中止したカフェ「レックコート」の売上減も影響し、売上高は前年同期比11百万円減となりました。一方、館外店舗におきましても2月に閉店しました「高島屋1888」や10名以上の予約のみの営業に業態変更しました「新町1888」の売上減により、売上高は前年同期比79百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」で個室利用のグループ客の増加やお食事処「入舟」において昼の入客が順調であったものの、前年閉店した「レックコート」の売上減少をカバーしきれず、売上高は前年同期比4百万円減となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,542百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

(その他部門)

その他部門の売上高は281百万円（前年同期比20.6%減）となりました。売上減少の大きな要因は、不採算となっておりました「病院食事業」を前年3月で撤退したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	1,720,195	32.7	7.9
宴会部門	1,720,627	32.7	8.3
レストラン部門	1,542,483	29.3	△5.8
その他部門	281,214	5.3	△20.6
合計	5,264,520	100.0	1.8

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ40百万円減少し、18,805百万円となりました。負債につきましても、前事業年度末に比べ93百万円減少し、16,938百万円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ53百万円増加し、1,866百万円となり、自己資本比率は9.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ258百万円増加し、当第2四半期会計期間末には1,617百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は303百万円(前年同期比24百万円の増加)となりました。これは利息の支払いが152百万円あったものの、減価償却費392百万円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は255百万円(前年同期は24百万円の資金の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が252百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は210百万円(前年同期は96百万円の資金の支出)となりました。これは主に長期借入金等の借換えにより返済額が13,431百万円あったものの、借入額が13,700百万円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期第2四半期の業績予想につきましては、平成28年2月15日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。なお、平成28年12月期通期の業績予想につきましては、修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359,429	1,617,662
売掛金	586,994	421,608
原材料及び貯蔵品	107,566	66,378
前払費用	44,496	48,269
その他	20,132	16,345
貸倒引当金	△708	△420
流動資産合計	2,117,911	2,169,845
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,979,708	10,815,793
構築物(純額)	72,426	65,666
機械装置及び運搬具(純額)	51,298	48,839
器具及び備品(純額)	218,858	272,734
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	164,104	168,850
有形固定資産合計	16,557,738	16,443,226
無形固定資産		
ソフトウェア	16,204	11,953
リース資産	23,473	34,508
電話加入権	4,429	4,429
商標権	416	391
無形固定資産合計	44,523	51,282
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	9,458	18,237
前払年金費用	13,227	21,432
差入保証金	81,095	80,220
その他	12,886	12,346
貸倒引当金	△1,086	△1,086
投資その他の資産合計	125,580	141,149
固定資産合計	16,727,843	16,635,658
資産合計	18,845,754	18,805,503

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	343,689	175,138
短期借入金	1,100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	10,880,420	773,420
リース債務	43,699	50,041
未払金	823,007	538,373
未払費用	211,417	150,522
未払法人税等	22,385	25,733
前受金	63,004	68,135
預り金	85,377	85,912
前受収益	47,059	27,874
ポイント引当金	18,334	20,710
店舗閉鎖損失引当金	7,767	138,900
その他	34,830	34,450
流動負債合計	13,680,993	2,089,212
固定負債		
長期借入金	2,164,672	13,640,462
リース債務	163,182	175,031
長期未払金	46,615	195,381
役員退職慰労引当金	4,550	-
店舗閉鎖損失引当金	114,450	-
長期預り保証金	853,884	831,984
繰延税金負債	4,233	6,543
固定負債合計	3,351,587	14,849,401
負債合計	17,032,581	16,938,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	510,229	450,229
その他資本剰余金	-	60,000
資本剰余金合計	510,229	510,229
利益剰余金		
利益準備金	24,708	-
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	35,640	114,067
利益剰余金合計	60,348	114,067
自己株式	△26,329	△26,332
株主資本合計	1,813,173	1,866,889
純資産合計	1,813,173	1,866,889
負債純資産合計	18,845,754	18,805,503

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高		
室料売上	1,508,562	1,647,996
料理売上	2,177,450	2,049,773
飲料売上	396,574	402,419
雑貨売上	269,030	289,897
その他売上	822,064	874,433
売上高合計	5,173,683	5,264,520
売上原価		
料理原料	673,224	607,802
飲料原料	88,058	88,422
雑貨原価	214,872	222,306
その他原価	140,464	162,565
原価合計	1,116,619	1,081,096
売上総利益	4,057,063	4,183,423
販売費及び一般管理費	3,892,076	3,832,473
営業利益	164,987	350,950
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	648	-
補助金収入	1,685	2,766
受取手数料	2,371	2,290
その他	5,423	3,811
営業外収益合計	10,149	8,888
営業外費用		
支払利息	155,590	129,700
支払手数料	21,200	51,349
その他	929	519
営業外費用合計	177,719	181,569
経常利益又は経常損失(△)	△2,583	178,269
特別利益		
投資有価証券売却益	35,061	-
特別利益合計	35,061	-
特別損失		
固定資産除却損	6,055	22,647
借入金中途解約損	-	27,424
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	17,550
その他	-	8,727
特別損失合計	6,055	76,349
税引前四半期純利益	26,422	101,919
法人税、住民税及び事業税	3,216	12,801
法人税等調整額	△34,003	2,309
法人税等合計	△30,787	15,110
四半期純利益	57,209	86,809

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	26,422	101,919
減価償却費	377,215	392,728
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△97	△288
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,720	2,376
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	16,683
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,120	△4,550
前払年金費用の増減額(△は増加)	△1,925	△8,205
受取利息及び受取配当金	△669	△20
支払利息	155,590	129,700
投資有価証券売却損益(△は益)	△35,061	-
固定資産除却損	6,055	22,647
借入金中途解約損	-	27,424
売上債権の増減額(△は増加)	148,351	165,385
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,794	41,187
仕入債務の増減額(△は減少)	△141,165	△168,551
未払金の増減額(△は減少)	△64,347	△55,505
その他	△70,775	△166,476
小計	443,989	496,457
利息及び配当金の受取額	669	20
利息の支払額	△161,056	△152,036
借入金中途解約損の支払額	-	△27,424
法人税等の支払額	△4,979	△13,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	278,622	303,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,911	△252,034
無形固定資産の取得による支出	△3,845	△3,941
投資有価証券の売却による収入	78,702	-
その他	-	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,945	△255,341
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	400,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	100,000	13,700,000
長期借入金の返済による支出	△546,210	△12,331,210
リース債務の返済による支出	△19,735	△25,186
自己株式の取得による支出	-	△3
配当金の支払額	△30,844	△33,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,790	210,502
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206,776	258,232
現金及び現金同等物の期首残高	333,656	1,359,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	540,433	1,617,662

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。